

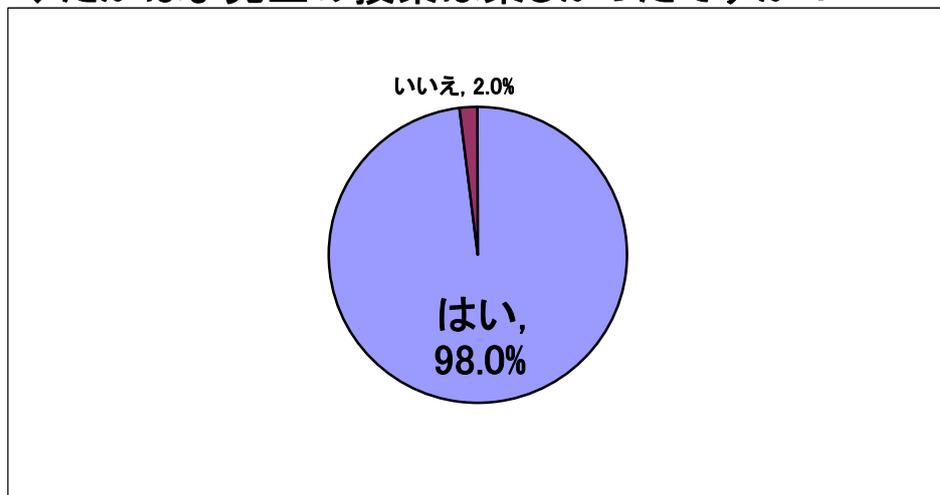
【1年間の高濱授業を振り返って 生徒アンケート概要(1～6年生)】

青木小学校 全校生徒アンケート結果(2008年3月実施)より

2008年6月12日

2006年度に引き続き、2007年4月から2008年3月にかけて、月に一回のペースで長野県青木小学校にて「考えることを好きになってもらう。考える力を伸ばす」ということを目的とした、高濱正伸の授業が行われた。以下は、1年間の授業後に実施された、全校生徒アンケートの概要である(回答数249名)。

◆たかはま先生の授業は楽しかったですか？



まず、授業の楽しさに関しては、左のグラフの通り、98.0%もの生徒が、高濱の授業が「楽しかった」と回答している。

尚、2006年度においても、97.4%もの生徒が楽しかったと回答している。2年続けて非常に高い生徒満足度であることがわかる。

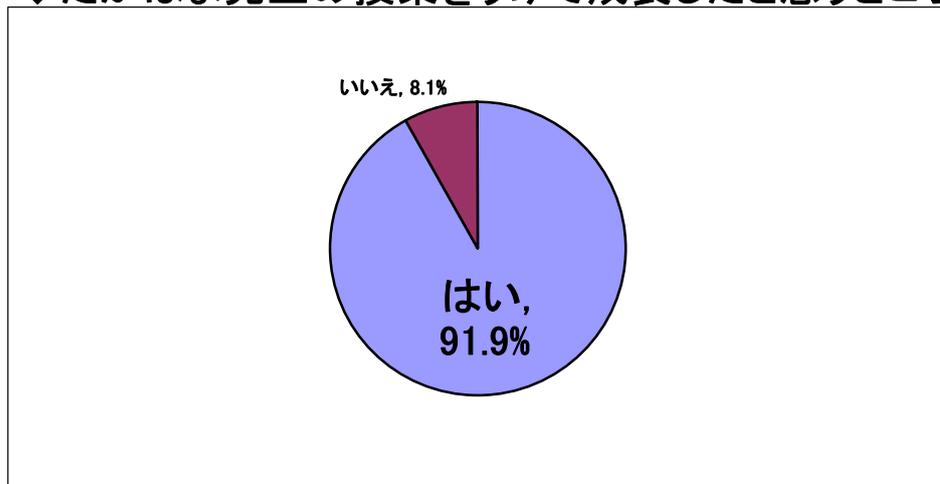
回答	人数(人)	%
1 はい、とても楽しかった。	185	74.6%
2 はい、楽しかった。	45	18.1%
3 はい、どちらかと言えば楽しかった。	13	5.2%
4 いいえ、どちらかといえばつまらなかった。	4	1.6%
5 いいえ、つまらなかった。	1	0.4%
6 いいえ、とてもつまらなかった。	0	0.0%

※回答1, 2, 3を「はい」に分類

※回答4, 5, 6を「いいえ」に分類

(無効回答1名)

◆たかはま先生の授業をうけて成長したと思うところがありますか？



次に、楽しいだけではなく、成長したかどうかという設問にも、91.9%もの生徒が、授業を受けて、「成長したところがある」と答えている。

尚、2006年度においても、92.3%もの生徒が「成長したところがある」と回答している。こちらも2年続けて子ども達自身が高濱授業の有用性を感じていることがわかる。

回答	人数(人)	%
1 はい、とても成長したと思うところがある。	80	32.4%
2 はい、成長したと思うところがある。	114	46.2%
3 はい、どちらかと言えば成長したと思うところがある。	33	13.4%
4 いいえ、どちらかと言えば成長したと思うところはない。	10	4.0%
5 いいえ、あまり成長したと思うところはない。	7	2.8%
6 いいえ、まったく成長したと思うところはない。	3	1.2%

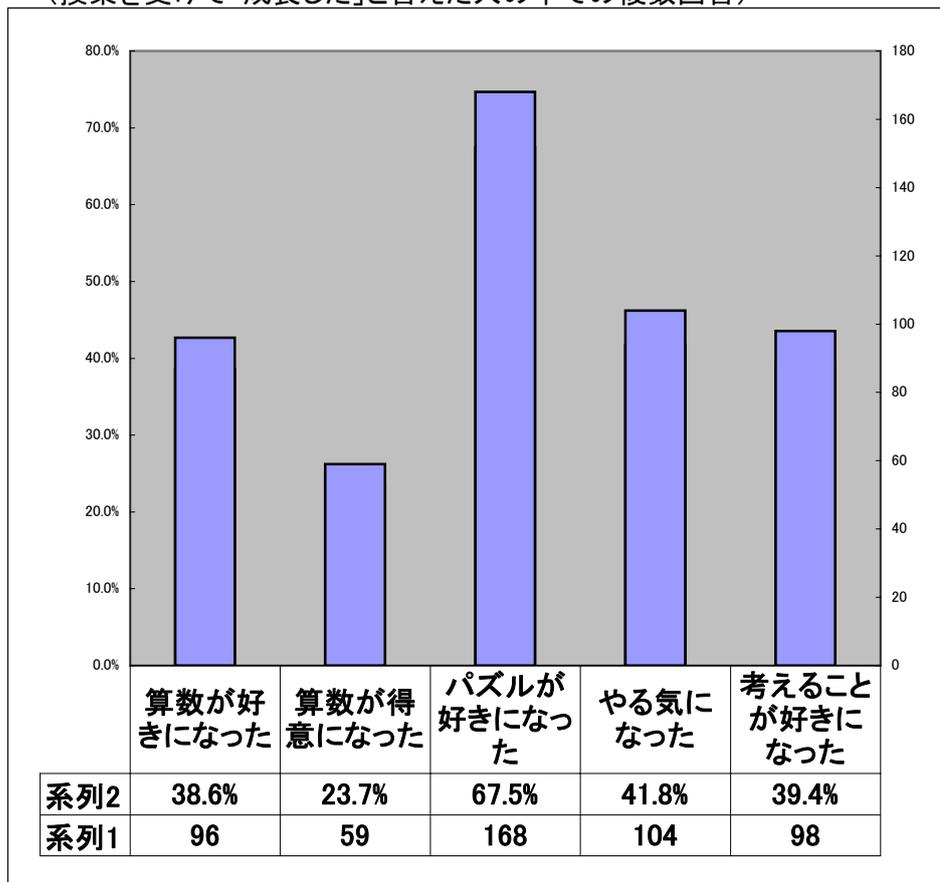
※回答1, 2, 3を「はい」に分類

※回答4, 5, 6を「いいえ」に分類

(無効回答2名)

◆算数が好きになった&得意になった、などのプラスの効果はありますか？

(授業を受けて「成長した」と答えた人の中での複数回答)

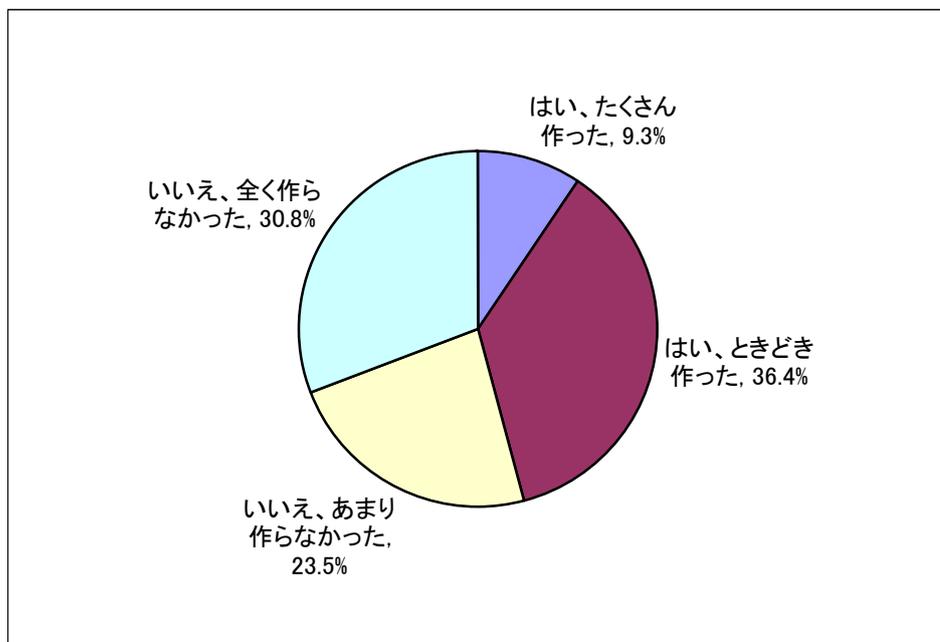


そして多くの子が、成長しただけではなく「算数が好きになった」「算数が得意になった」「パズルが好きになった」「やる気が出た」「考えることが好きになった」と高濱授業を受けてのプラスの効果回答している。

尚、昨年度の割合では、「算数が好きになった」44.2%、「算数が得意になった」28.8%、「パズルが好きになった」60.9%、「やる気が出た」46.8%、「考えることが好きになった」45.1%という結果が出ている。

2年目ということもあり、子ども達自らが熟考し、去年より低い数値にとどまっている項目も多いが、それでも、高濱授業により、「算数が好き」になったり「得意」になったという実際の効果をあげていることがわかる。

◆この一年間で、あなたは手づくりパズルを作ってみましたか？

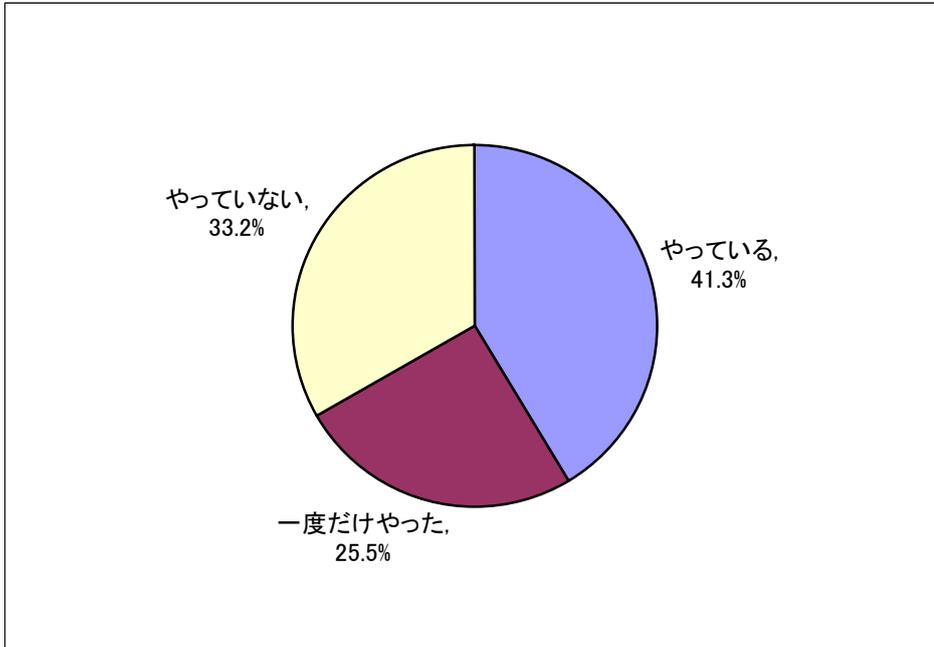


また、今年度は、日常的に思考力を伸ばすという主旨の元、子ども達に手づくりパズルをつくろう！という呼びかけを行った。考える力とは一朝一夕に身につくものではなく、日常的な習慣とすることが重要である、との考えからである。担任の先生方のご協力の下、「たくさん作った」、または「ときどき作った」という子たちがいたことが見て取れる。学年によっては、月1回の授業のたびに毎回自分の手づくりパズルを提出し続けその切磋琢磨の環境の中、生徒達の問題の精度は飛躍的に向上した。

回答	人数(人)	%
1 はい、たくさん作った。	23	9.3%
2 はい、ときどき作った。	90	36.4%
3 いいえ、あまり作らなかった。	58	23.5%
4 いいえ、全く作らなかった。	76	30.8%

(無効回答2名)

◆たかはま先生の授業でやったことを、家に帰ってからしたことはありますか？



では、月一回の高濱授業を、家に帰ってから子ども達は行っているのだろうか。

左の結果を見てみると、高濱授業は子ども達にとって「楽しく」「成長する」ものであり、「算数が好き＆得意」になったり、「やる気」になったりするが、その定着に寄与する、家庭での恒常的な取り組みは今年度も41.3%にとどまっている。

昨年度は「やっています」40%
「一度だけやった」25.5%
「やっていない」39%であった。
家庭で取り組んでいる割合は微増にとどまっている。

回答	人数(人)	%	
1 はい、家に帰ってから家族の人に説明していつもいっしょにやっている。	27	10.9%	※回答1, 2を「やっています」に分類
2 はい、家族と、たまにいっしょにやっている。	75	30.4%	
3 はい、家族と一度だけやったことがある。	63	25.5%	※回答3を「一度だけやった」に分類
4 いいえ、やろうと思ったことはあるけど、やったことがない。	36	14.6%	
5 いいえ、やったことがない。	32	13.0%	※回答4, 5, 6を
6 いいえ、やったことがないし、やろうと思ったこともない。	14	5.7%	「やっていない」に分類

(無効回答2名)

今年度(2007年度)は、昨年度(2006年度)のアンケート結果より、日常的に思考力を育成するために、「手づくりパズル運動」の推進を目標に、年間の授業を行った。高学年は、毎月手づくりパズルを提出してくれた学年もあり、年間では、300作品以上の子ども達の手づくりパズルが集まった。

このように、月1回の高濱授業&日常的に思考力を伸ばす取り組みは、確実に結実しているものの、例えば四則計算ができないがゆえに、思考力分野の理解がおぼつかない生徒がいる事実も浮き彫りになってきている。以上のことを踏まえて、2008年度の花まる学習会&青木小のコラボレーションでは、「やる気を出す」花まるメソッドを最大限活用してもらいながら、思考力の育成とともに基礎計算や基礎漢字力強化の取り組みを、学校と家庭の協力の元、積極的に行っていきたいと考えている。

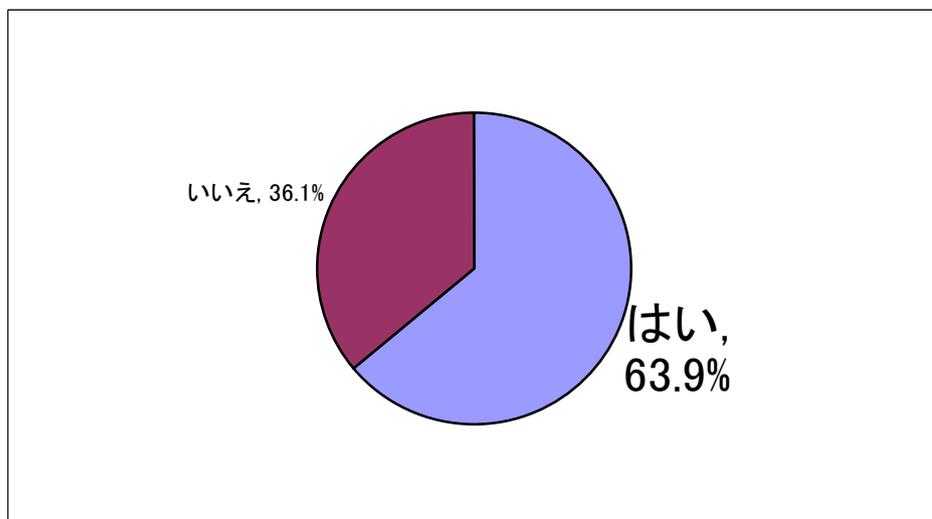
【1年間の高濱授業を振り返って 保護者アンケート概要 全220名】

青木小学校 保護者アンケート結果(2008年3月実施)より

2008年6月12日

2006年度に引き続き、2007年4月から2008年3月にかけて、月に一回のペースで長野県青木小学校にて「考えることを好きになってもらう。考える力を伸ばす」ということを目的とした、高濱正伸の授業が行われた。以下は、1年間の授業後に実施された、保護者アンケートの概要である。

◆今年度は、子ども達の「考える力の育成」のために、学校やご家庭での「手づくりパズル」運動を推進していたことを、ご存知でしたでしょうか。

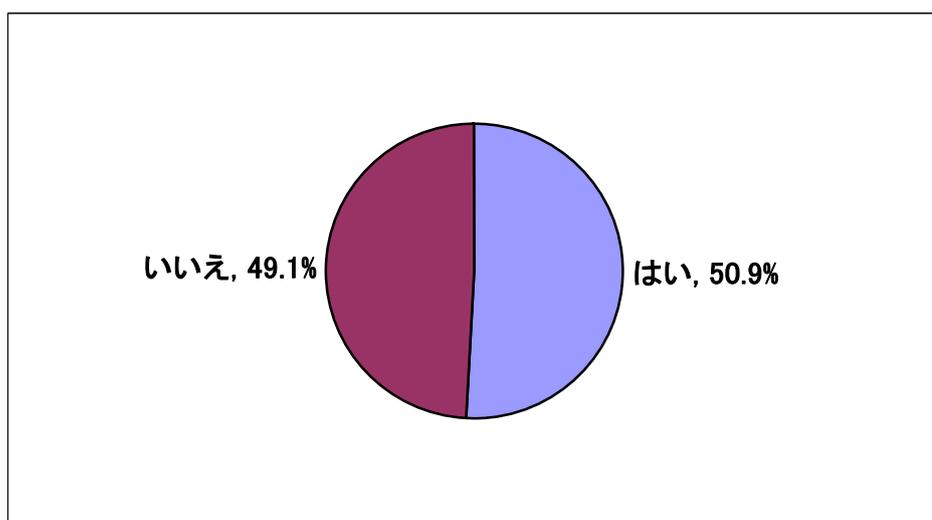


2007年度は、子ども達の「考える力の育成」のために、学校や家庭での「手づくりパズル運動」を推進していたが、グラフの通り、「手づくりパズル運動」に関するご家庭の認知度は、63.9%にとどまっていることがわかる。

回答	人数(人)	%
1 はい。	140	63.9%
2 いいえ。	79	36.1%

(無効回答1名)

◆実際に、子ども達が手づくりのパズルを行っているのを、ご覧になったことはありましたか？



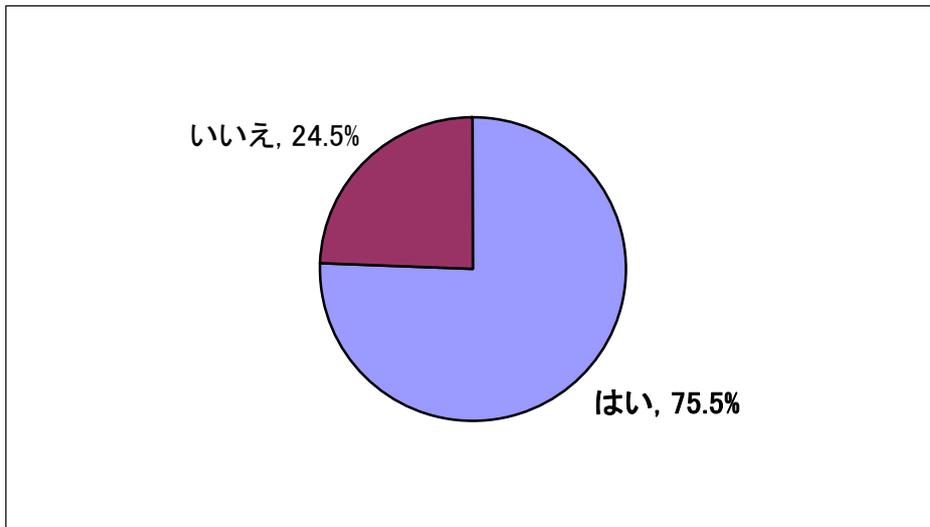
また、それを受けてか、生徒がおうちで、手づくりパズルを行っているのを見たことがある方も50.9%にとどまっている。

回答	人数(人)	%
1 はい、よく見たことがある。	21	9.5%
2 はい、時々見たことがある。	91	41.4%
3 いいえ、ほとんど見たことがない。	54	24.5%
4 いいえ、見たことがない。	54	24.5%

※回答1, 2, を「はい」に分類

※回答4, を「いいえ」に分類

◆お子様はおうちで高濱の授業の話をしていましたか？



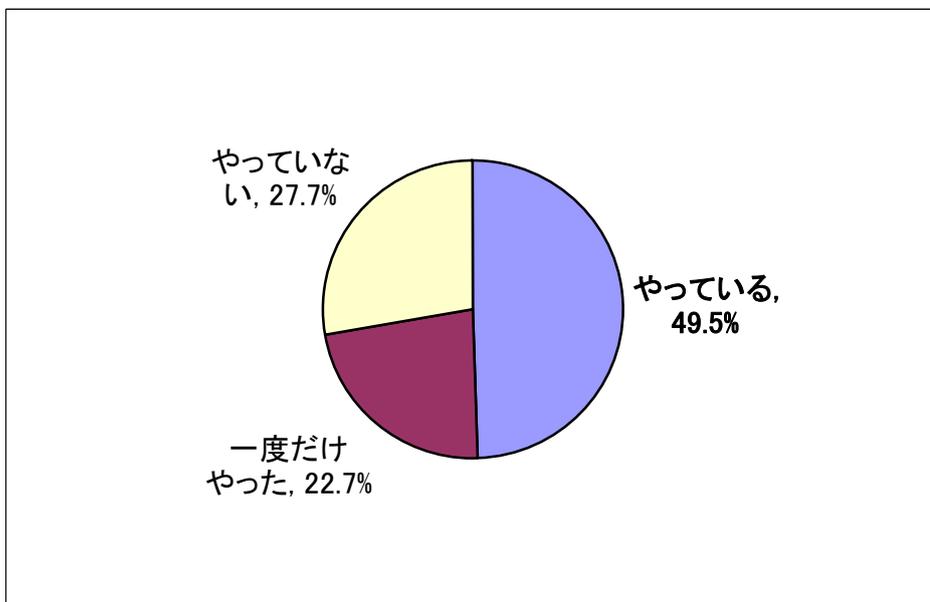
一方で高濱の授業に関しては、左のグラフの通り、75.5%の方が、生徒がおうちで、授業に関して話していた、と回答している。

回答	人数(人)	%
1 はい、楽しそうに授業の話をしていた。	80	36.4%
2 はい、授業の話をしていた。	86	39.1%
3 いいえ、ほとんど授業の話をしたことがない。	43	19.5%
4 いいえ、一度も授業の話をしたことがない。	11	5.0%

※回答1, 2, を「はい」に分類

※回答4, を「いいえ」に分類

◆ご自宅で、授業で行った内容を一緒にやったことはありましたか？



しかしながら、去年に引き続き授業内容の定着という観点から見ると、保護者アンケートにおいてもご自宅での定着度は決して高いとは言えない。「やっていない」や「一度だけ」という回答がほぼ半分を占める。この結果は、生徒の回答とほぼ同じ割合を示している。

回答	人数(人)	%
1 はい、いつもいっしょにやっている。	15	6.8%
2 はい、たまにいっしょにやっている。	94	42.7%
3 はい、一度だけやったことがある。	50	22.7%
4 いいえ、やろうと思ったことはあるが、実際やったことがない。	25	11.4%
5 いいえ、やったことがない。	34	15.5%
6 いいえ、やったことがないし、やろうと思ったこともない。	2	0.9%

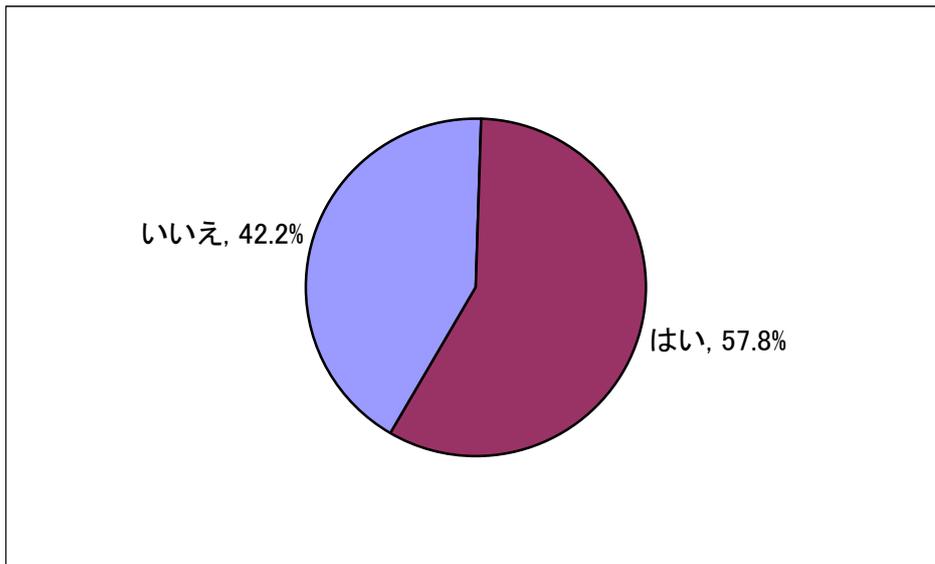
※回答1, 2, を「やっている」に分類

※回答3, を「一度だけやった」に分類

※回答4, 5, 6を

「やっていない」に分類

◆一つの問題を考え抜くことや、パズルをたのしむことなど、この一年で子どもに何らかの変化があったように感じたことはありますか？



今年度は左記のような問いも保護者に問うた。
左のグラフの通り、42.2%の方が、例えば、「今まであきらめがちだったのが楽しみながら考え抜くことができるようになった」などこの一年で生徒に何らかのプラスの変化があったと回答してる。
(詳細は記述回答を参照のこと)

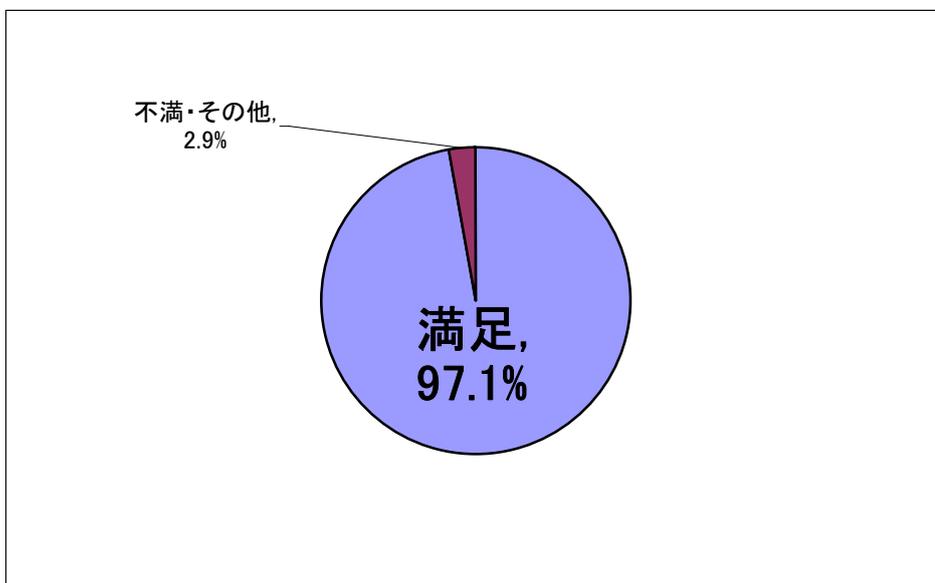
回答	人数(人)	%
1 全くない。	3	1.4%
2 ほとんどない。	86	40.8%
3 変わったと感ずることがたまにある。	104	49.3%
4 変わったと感ずることがある。	18	8.5%

※回答1, 2, を「いいえ」に分類

※回答3, 4, を「はい」に分類

(無効回答9名)

◆総合的に見て、この1年間の高濱の授業はいかがでしたか？



その結果、97.1%の方が子ども達の様子などから総合的に見て、この1年間の高濱の授業に「満足」と答えている。

昨年度(2006年度)も96.5%の方が「満足」と回答していたので、2年間を通じて、保護者の評価もかなり高いと言えるだろう。

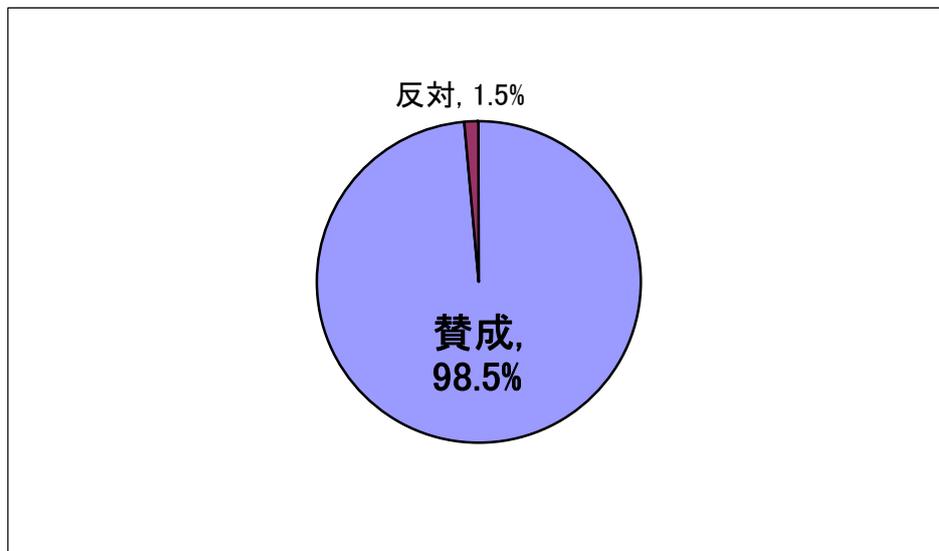
回答	人数(人)	%
1 大変満足している。	61	29.0%
2 満足している。	87	41.4%
3 どちらかといえば、満足している。	56	26.7%
4 どちらかといえば、不満である。	1	0.5%
5 不満である	0	0.0%
6 大変不満である。	0	0.0%
7 興味がないので、なんともいえない。	5	2.4%

※回答1, 2, 3を「満足」に分類

※回答4, 5, 6, 7を「不満・その他」に分類

(無効回答10名)

◆来年からもこのような授業があることに対して賛成ですか？



そして、来年以降も、このような高濱の授業があることに対しても98.5%の方が「賛成」を表明した。

2006年度の「賛成」比率が96.1%であったことを考えると、やはり2年間を通じて、高濱授業に対しての多くの保護者の方が賛同しており、「思考力を育てる」という主旨への期待度も高いことが伺える。

回答	人数(人)	%
1 賛成	203	98.5%
2 反対	3	1.5%

(無効回答14名)

以上の、保護者アンケートの結果・生徒アンケートの結果から、2008年度の青木小学校における高濱授業では、2007年度に引き続き、子ども達に「考えることを好きになってもらう。考える力を伸ばす」ことを目的とした授業を行いつつ、学校やご家庭でできる、更なる「手作りパズル」運動を展開し、保護者の方も巻き込んだ、子ども達の幅広い思考力の育成を日常的に目指すものとする。

そして、同時に、生徒アンケート概要でも述べたように、「子ども達のやる気を育む」花まるメソッドを最大限活用してもらいながら、思考力の礎となる、基礎計算や基礎漢字力強化の取り組みを、学校と家庭の協力の元、積極的に行っていきたいと考えている。